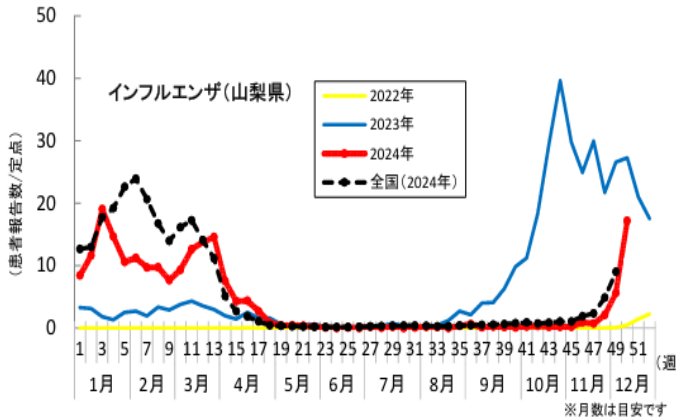




1月院内感染対策ニュース

2025年1月
第24号

現在インフルエンザが流行しています。感染予防を行いましょう。



山梨県感染症情報センター2024年12月19[日]作成

【症状】

- 38.0以上の発熱
- 頭痛
- 関節痛・筋肉痛
- 咽頭痛・鼻汁・咳など



【感染期間】

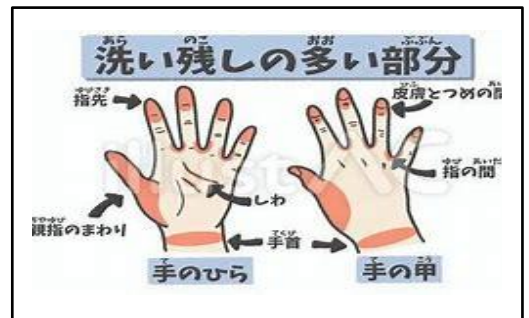
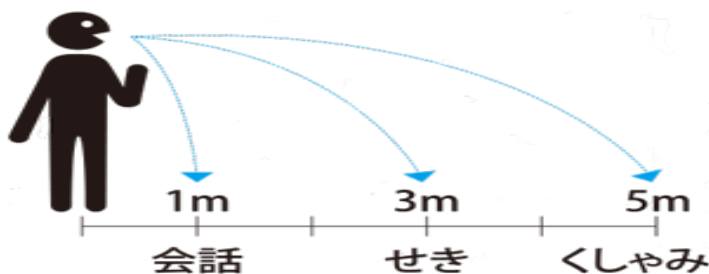
発症する24時間前から感染力があり、発症後24時間程度が最も感染力が強いです。その後3～7日間ウイルスを排出するといわれています。

【検査時期】

症状出現後、12時間～24時間経過してから検査をしましょう。タイミングが早すぎると結果が陰性になることがあります

【感染経路】

咳やくしゃみによる**飛沫感染**と、飛沫に含まれるウイルスが付着した手指で自分の目・鼻・口に触ることによる**接触感染**です。咳がある場合、マスクをしていないと飛沫は以下の図のように飛び散る。



【治療】

発症から48時間以内に抗インフルエンザウイルス薬の服用を開始すると、鼻やのどからのウイルス排出量が減り、発熱期間も1～2日短くなります。

発症から48時間以降に服用を開始すると、十分な効果が期待できません。また、治療効果を得るためには、用法、用量、服用日数をきちんと守ることが重要です。

左の図は、山梨県の定点病院のインフルエンザ患者の人数です。赤い線が2024年の状況です。11月末からインフルエンザ患者数が増えています。12月末には警報レベルになりました。今後も増加することが予測されます。

感染対策



- ・手洗い
- ・咳エチケット(外出時にはマスクを着用し、流行時には人混みを避ける)をしましょう
- ・十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、体調を良好に保つよう心がけましょう
- ・室内の湿度を適度に保ちましょう
適度な湿度(50～60%)です